

武庫川女子大教授

倉石哲也さん



4月に子どもが小学校に入学する家庭では、新生活に期待が膨らむ一方、不安もつきまといまいます。親はどんなサポートをすればいいのでしょうか。武庫川女子大教授の倉石哲也さん(臨床福祉学)に写真に聞きました。



入学に向け、着替え、朝食、歯磨き、持ち物の準備といった朝の基本動作の練習をする家庭もあります。しかし、就学前後の子どもが、一連の動作をスムーズにこなすのは、思った以上に

くじいし・てや 武庫川女子大文学部教授。子どもの虐待予防が専門で、学童期の子育て支援に詳しい。NHK・Eテレの育児情報番組「すくすく子育て」に出演する。

新入学「楽しい」積み重ねて

に難しいのです。

5〜10歳は、「やればできる」という自己効力感を育む時期です。できないことを繰り返して練習するより、できること、楽しいことを積み重ねることが、成長には大事。そうすることで、子どもは自信をつけ、より困難なことに挑戦するようになります。そのため、入学準備に焦らず、親が手伝って、子どもに「できた」という達成感を味わわせてほしい。例えば、親が翌日の持ち物を準備し、カバンに入れるところから子どもに任せる、などです。

膨らませるために、「かわいい店があるね」など、通学路の楽しみを一緒に見つけるのもお勧めです。新学期は、クラス替えなどもあり、新入生に限らず緊張します。いつもより食事の量が減った、怒りっぽくなった、などの変化は子どものSOSの兆候。まずは、スキンシップを増やし、安心感を与えるようにしてください。それでも改善しなければ学校の先生や、通っていた幼稚園、保育園の先生に相談しましょう。今はさらに、新型コロナウイルスの感染拡大が気になります。親の不安な様子は子どもに伝染します。現状を、子どもにわかるように話すことを心がけましょう。

また、入学前に通学路を親子で歩くこともあるでしょう。交通ルールや危険な場所の確認は大切ですが、小学校に明るいイメージを

ウニはママの好物だそうです。ママの答えが気になります。(平田俊子)

こどもの詩

ママはさやちゃんのどんなかおがすきき?
 わらってるかお?
 じゃあ
 わらっているかおと「ウニ」
 どっちがすきき?

吉野 桜也子

(東京都武蔵野市・キッズガーデン武蔵野関前4歳)

子育てQ&Aでは、子育ての悩みや疑問を募集しています。郵便は、〒530・8551読売新聞大阪本社生活教育部「子育てQ&A」係へ。メール (seikatsu@yomiuri.com) でも受け付けます。